

2009年度

科目名	書道B			コード	53350
担当教員	永田 誠			単位数	2
配当	日文2	講時	金曜日3限	単位数	2
開期	後期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	日本の書道史を学習すると同時に名筆を鑑賞し、仮名文字の実技を演習する。				
目的と概要	日本の平安朝以後の書道史の概要を知り、仮名の名筆を鑑賞すると同時に臨書する。且つ、これを通じ異なる書風的美しさを体得し、より高度な表現と鑑賞の能力を高め、仮名文字の伝統を理解する。又、仮名文字を味わう喜びと社会的意義を感得し一生涯書を愛好する心情を育成する。				
成績評価法	毎時提出する清書作品を評価、期末には変体仮名のテストを実施・作品鑑賞レポート・小テスト・授業態度・出席も重視し評価に加味する。3回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。(遅刻3回を欠席1回とみなす。)				
テキスト	毎時、プリント配布				
参考書	必要に応じて紹介する				
履修に当たっての注意・助言	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校で書道を選択あるいは塾等で学習し、相応の実力を持っていること。 ・実技教科のため、自宅での繰り返し練習を望む。 				
講義計画					
<回>	<平安朝以後の書の認識>	<書道史上の事歴を知り名筆を鑑賞>	<平仮名、変体仮名の基本練習と上代仮名を習熟>		
1・2 3・4	平安時代(初・中期)の概要を知る	三筆・三蹟の書を鑑賞 特に三蹟を重要視する	平仮名を習熟させる 高野切第三種および 粘葉本和漢朗詠集など より集字した平仮名		
5・6 7・8	平安時代(後期)、 鎌倉時代の概要を知る	和様体の爛熟した仮名 鎌倉時代の和様体を鑑賞	変体仮名を習熟させる 高野切、粘葉本等使用度の 高い変体仮名		
9・10 11・12 13・14	室町・桃山時代の概要 を知る	古筆手鑑について 寛永の三筆(近衛信尹・ 本阿弥光悦・滝本坊昭乗) の書を鑑賞	・連綿の学習 (二字以上の文字、形連・意連) ・高野切第三種を書く (単体練習と連綿) ・散らし書き (蓬らいつ切、升色紙、 寸松庵色紙)		
15	明治・大正時代の概要 を知る	現在の書について鑑賞	一年間の反省と感想		